

妙高西条農園 おたより

今年の稲作りを振り返って

三月下旬からの苗作りで始まり、五月連休末に田植えを行った、今年の米作りでしたが、七月の21日の梅雨明けまで順調に生育してきましたコシヒカリの稲作りでしたが、それ以降これまでも経験したことのない高温と雨の降らない晴天がつづき、特に八月中旬から例年ですと、秋風が吹き始めるころになって35°Cを超える猛暑日がつづき、この現象は稲刈りの始まった九月中旬までつづきました。

当農園では水利条件が比較的によかったことから、水不足は免れたのですが、山間部や平野部の圃場では、稲が枯れてしまった箇所



No.147
11月号
2023.11.23



も多く出てしまいました。水不足は免れましたが、高温による障害があらわれ、収穫量で例年より約10%程の減収となってしまう。気になる品質ですが、ふるさと納税品の食味鑑定でも、例年と変わらない「美味しい米」の評価を受け安心しているところです。先月号で、秋が無くて冬景色の緑の山に白い初冠雪の記事を書きましたが、平野部での異なる景色について紹介します。

十一月になっても稲刈りが

この辺では「マサリ」と呼んでいます。刈取りの済んだ稲株から再び芽が出る状況です。

今年は異常気象の影響だと思いますが、このマサリが大きく生長し丈が40~50cmに伸び先には稲穂が実っています。特に今年は生長が早まったことから、早稲種の刈取りが八月末の猛暑日の中で始まったこともあり、このマサリの生長が旺盛でこのような景色になったものと思われれます。

このように伸びたマサリが春の耕耘に影響が出ないか心配しています。

生ニンニクの植え付けを

今年の黒ニンニクの生産では、品不足と品質の関係で、皆さんには、ご迷惑をおかけしましたが、来年の黒ニンニクでは、良い製品がお届け出来るように、約二千本の苗を植え付けました。

現在のところ、全て順調に生育していますが、冬の降雪で被害が出ないように祈っています。



今手戻つては農機具を又内



このQRコードから11月の農作業等の動画が見られます。



今年も福ダルマの時期に

高崎少林山達磨寺の開運福ダルマです、ご注文は直接電話か、上記QRコードホームページからどうぞ！三箇所にお好きな文字が入ります



うんちんこりゃんこ

今年もお歳暮の時期になりました。肝太く家のコシヒカリをご利用ください。



発行者
〒944-0023

新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908